

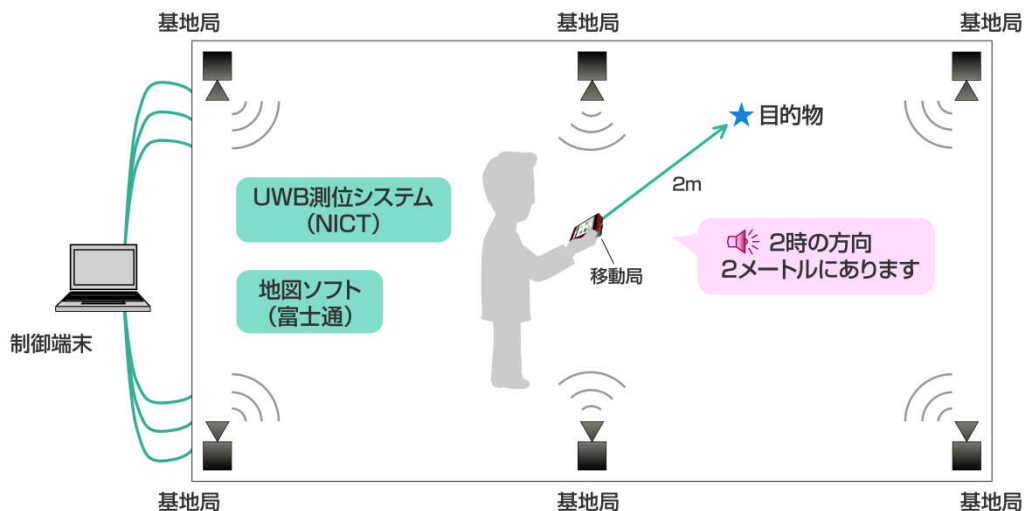


図1 システム構成図と利用イメージ

「基地局」が配置されているエリアにある「移動局」に対して、通信範囲にあるすべての「基地局」との間で自動的に測距が開始される。

2個以上の「基地局」から測距結果が得られれば、「制御端末」において、これらの測距結果（2～6個）に基づいて、「移動局」の現在位置を算出する。

位置特定の結果を座標値という形でユーザが所持する「移動端末」に通知し、さらに、Bluetooth 経由でユーザが所持する「スマートフォン」に転送される。

「スマートフォン」において、専用のアプリケーションソフトを使用して、「移動局」から送られて来る測位データを基に、現在位置を画面表示する。さらに、「スマートフォン」で、別の「移動局」を置いている目的地を指定することが可能であり、目的地の位置を同じ UWB の測位データを用いて画面上に表示するとともに、現在位置から目的位置までの方向と距離情報を音声で読み上げる。

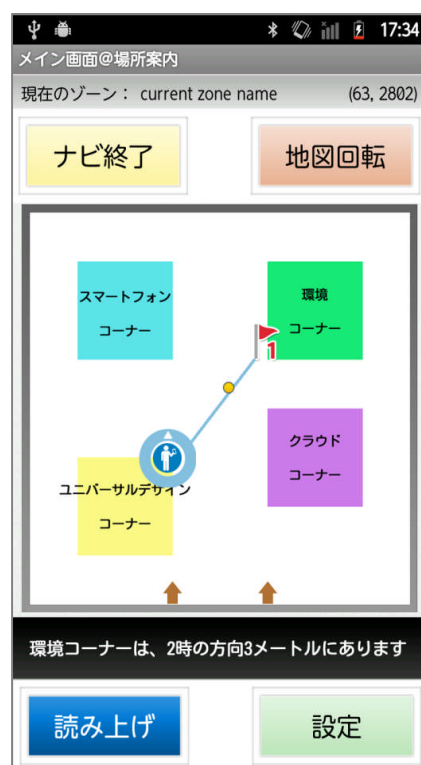


図2 スマートフォンの表示画面例